

令和6年度 第4回 都市環境デザイン委員会議事概要

日時：令和7年3月12日（水）14：00～

場所：帯広市役所10階第5A会議室

【出席委員】

赤嶺委員長、府川副委員長、大宮委員、数田委員、小村委員、紅葉委員、和田委員

【事務局】

中田都市政策課長、中島都市政策課長補佐、近藤主任

【関係課】

市民活動課 高田市民活動課長補佐、住宅営繕課 遠國主任

【議事概要】

1 開会

「帯広市都市環境デザイン委員会設置要綱第6条第2項」に基づき、半数以上の委員が出席していることから、会議が成立することを確認した。

2 委員長挨拶

3 議事

（1）令和6年度都市景観形成主要建築物等の報告について

仮称「大空会館」について、これまで大宮委員、数田委員、府川委員と協議してきた内容について、担当課である住宅営繕課、市民活動課より説明
委員からの主な意見・質疑は次のとおり

意見、質疑

（委員）

仮称「大空会館」と利便施設エリアに建築される建物が一体的となれば良かった。
土足利用ができれば、年配の利用者にとっては靴の脱ぎ履きなど便利ではないか。

（市民活動課）

福祉センター全体の利用方法として、利用した人が清掃するものとしている。
今後の管理面を考慮し、土足利用しない方向で検討しているが、いただいた意見を今後の参考としたい。

（委員）

木や自転車置き場の配置について協議し、反映されたものとなった。今後の実施設計でより良いものとなることを期待。

（委員）

植栽のレイアウトや樹種について協議し、反映されたものとなった。
今後の実施設計においても、隣接する施設との歩行者導線に配慮した形となることを望む。

(委員)

地域の意見を聞く場面はあるか。

(市民活動課)

これまで、令和5年7月、令和6年2月に自治会や義務教育学校など2回、意見交換をした。また、管理運営している委員会の意見も伺っている。

今後も実施設計する段階で地域の意見を聞いてく考え。

(2) 第19回帯広市まちづくりデザイン賞 表彰式について

事務局より、第19回帯広市まちづくりデザイン賞について説明

委員からの意見・質疑等はなし

(3) 帯広市都市環境デザイン委員会の取組みについて

事務局より、帯広市都市環境デザイン委員会について説明

委員からの主な意見・質疑等については、次のとおり

意見

(委員)

- ・デザイン委員として参加したことで、貴重な経験ができた。
- ・景観は少しずつ変わってきた印象を持っている。
- ・様々な専門家である委員との交流も刺激となった。
- ・この取り組みに関わることで、都市景観について勉強になった。
- ・委員になると景観の見方も変わってきた。今後も、帯広市には良い景観が出てくると思うので、帯広の魅力として発信してほしい。
- ・デザイン賞がなくなることは残念。デザイン委員に携われて勉強となった。
- ・デザイン賞の終了が惜しまれる。個々の建物の設計者が主張したい様々な思いがありながら、良好な都市景観を形成していくことは難しいと感じた。
- ・景観の正解は明確ではなく、そこが難しかったりおもしろい部分である。そのため景観を表彰する取組みは他町村でもあまりなく、意義のある取組みだった。
- ・正解のないものを評価するために様々な分野の専門家で議論し、一定の成果のある取組みだったと考える。
- ・一方で、景観から一歩先へ行くタイミングであり、環境負荷の低減やSDGsの視点も踏まえて、地域・エリアをどう考えていくのが求められる段階だと思う。

4 閉会

以 上